

[普及の現場から]

手作り繁殖ボードで発情の見逃しが無くなった！

岡山農業普及指導センター

### 1. 使い勝手の良い繁殖ボードをご紹介

酪農および和牛繁殖農家の皆さんに、お金をかけずにすぐできる繁殖データの管理方法（牛島式繁殖ボード（以下繁殖ボード））をご紹介しますと思います。



写真1 牛島式繁殖ボード設置状況

### 2. いいとこどりの繁殖ボード

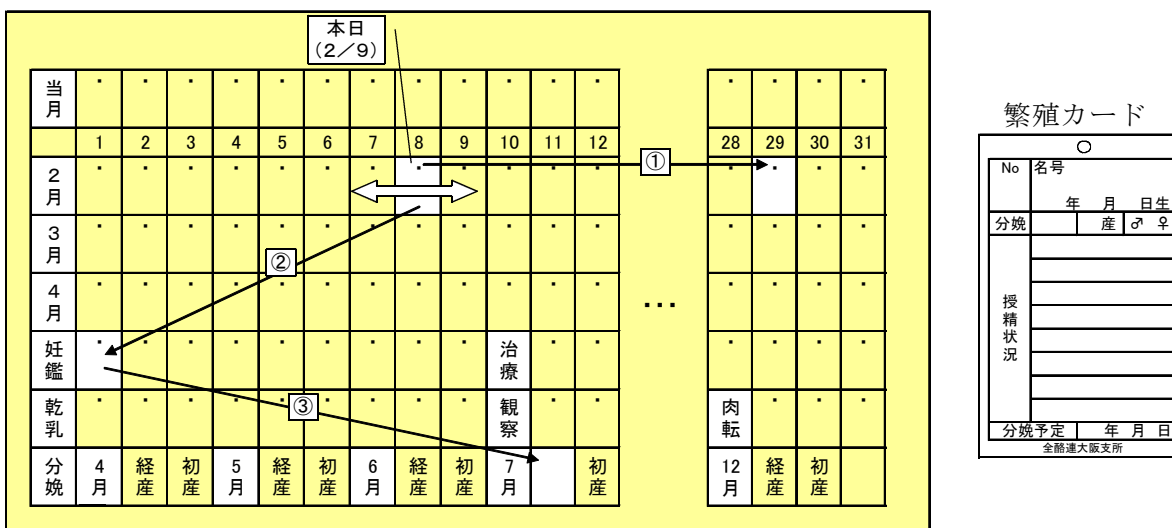
この繁殖ボードは、全酪連職員の牛島氏が考案されたもので、様々な繁殖データ管理方法の欠点を補った、いいとこどりの繁殖管理方法です（表1）。

表1 繁殖データ管理方法の比較

	ノート	黒板	繁殖円盤	パソコン	繁殖カレンダー	繁殖ボード
5秒で確認できる	○	○	○	×	○	○
1万円より安い	○	×	×	×	○	○
情報をたくさん記入できる	○	×	×	○	×	○
発情周期管理ができる	△	△	○	○	○	○
繁殖管理の全体像が分かる	△	△	○	○	△	○

### 3. どのように使うのか？

コンパネ上の繁殖カードを繁殖周期に従って動かすことで、牧場内の繁殖情報を分かりやすくかつ簡単に管理します（図1）。



- ①発情確認：本日より±1日のマスにあるカードの牛に発情がないか確認。発情があれば記録して人工授精を実施、無ければ次の発情予定日（21日後など）にカードを動かす。
- ②妊娠鑑定：2回の再発情確認で発情が無かった牛（人工授精後42日ぐらい）は獣医さんを呼んで妊娠鑑定をする。
- ③妊鑑後：妊鑑+ならばカードを分娩予定月に移動する。妊鑑-ならば治療後にカードを発情予定日に移動する。

図1 繁殖ボードの使い方（例）

#### 4. 繁殖ボード活用により繁殖成績向上！

岡山管内の酪農場において繁殖ボードを導入した結果、繁殖成績の改善が見られました。

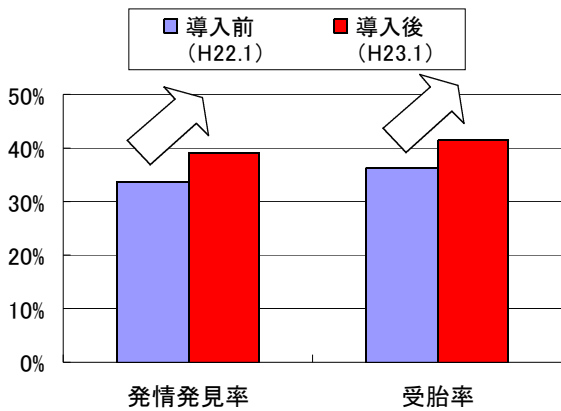


図2 繁殖ボード導入による繁殖成績（発情発見率、受胎率）の改善状況

#### 5. 繁殖ボード導入のメリット

(1) 攻めの繁殖管理ができる

発情を観察する牛の絞込ができ、積極的に発情を追うことができます。また、人工授精後の再発情の観察に重点を置くことで、未受胎牛への早期の対応が可能となります。



(2) 牧場全体の牛の動態が分かる

受胎牛や未授精牛、乾乳牛など、牧場全体の牛の動きが一目で分かります。

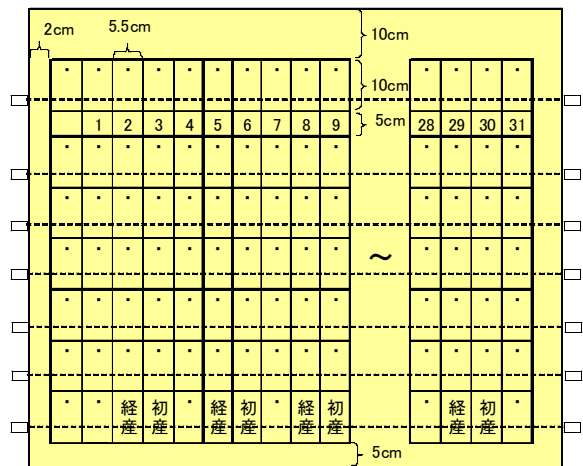


#### 6. 製作コストは3,000円以下！

(1) 材料とコスト

材料	数量	金額
塗装コンパネ (90×180cm)	1枚	1,780円
釘	300本ぐらい	198円
マジック黒	1本	105円
テグス	15mぐらい	268円
画鋏	14個	200円
繁殖カード	頭数による	全酪連へ
計		2,551円

(2) 製作方法



- ① 黒マジックでコンパネに枠線を描く
- ② 日付を書く（上から2段目）
- ③ 各マスにカードを掛けるための釘を打つ
- ④ カード抑え用のテグスを張る

※製作方法の詳細はご相談下さい。

#### 7. 発情の見逃しに困っている方にオススメです！

この繁殖ボードは、「発情の見逃しが多い牧場」で威力を発揮します。

下記の条件に当てはまる方は導入を検討してはいかがでしょうか？

- 発情発見率が50%以下
- 人工授精後、次の周期の発情が飛んでいる未受胎牛が多い